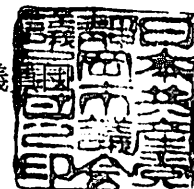


2021年6月29日

静岡市教育委員会
教育長 赤堀文宣 様

日本共産党静岡市議会議員
団長 内田隆典



中学校歴史教科書再採択に関する申し入れ

日頃から、貴職の学校教育に対する誠実な取り組み姿勢に敬意を表します。

さて、先般、静岡市教育委員会は中学校歴史教科書の採択のやり直しを決定しました。これは、自由社の「新しい歴史教科書」が新たに文部科学大臣の検定に合格したことにより、同一教科用図書の採択の特例である「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行規則第6条第3号」によるものと承知しています。しかし、自由社の「新しい歴史教科書」は、歴史の事実を歪めて日本の侵略戦争を正当化している記述があることを指摘せざるを得ません。

文部科学省の「令和4年度使用教科書の採択事務処理について（通知）」（令和3年3月30日）では「採択替えを行うことも可能である」としており、採択替えは不要との判断もできるものです。現在採用している帝国書院の「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」について特別な問題が生じているとは聞いていません。むしろ採択替えにより、教員はわずか1年で新しい歴史教科書を学びなおさなければならず、現場に大変な負担を強いることとなります。また、同通知では、「新たに発行されることとなった図書について調査研究を行うこと」とあり、この点も十分に行うことができるか疑問です。

よって、以下の点について申し入れます。

記

1. 採択のやり直しを決定した経緯について説明すること
2. 自由社の「新しい歴史教科書」の調査研究等の結果を明らかにすること
3. 現在使用の帝国書院の歴史教科書に特段の問題がない限り、採択替えは行わないこと